



ＪＲ高岡駅・高岡市連携推進会議 「おもてなしの心ワーキンググループ」の検討結果について

本年 6 月 5 日にＪＲ高岡駅、(社)高岡市観光協会、高岡市の 3 者により設置した「ＪＲ高岡駅・高岡市連携推進会議」の「おもてなしの心ワーキンググループ」の検討結果がまとまりました。高岡市では、この提案について今後ＪＲと具体的な協議を進め、順次、実施していくこととしています。また、今後とも、交流人口の拡大に向けて、ＪＲと協調しながら、本市の観光振興を図ってまいります。

1 ワーキンググループの役割

ＪＲ高岡駅、高岡市観光協会及び高岡市の若手社員・職員 9 名で構成するワーキンググループでは、現地調査などを踏まえ、以下の事項について協議、提案を行った。

- ・ＪＲ高岡駅における来訪者に対する「おもてなしの心」の表現
- ・ＪＲ高岡駅と高岡市の連携による観光情報の発信と誘客方法

2 検討結果

(1) コンセプト

“感じて” - 高岡の情報を駅から発信し、より一層、顔（高岡らしさ）の見える駅にする。

“知って” - ＪＲを使って来られたお客様に高岡の見所、名物、産業を知ってもらい、高岡を楽しんでいただく。

“繋がって” - 高岡駅から目的地へスムーズに向かっていただけのような環境をつくる。高岡駅を中心としたまちなかの活性化に寄与する。

“盛り上がる” - 高岡開町 400 年を高岡駅から盛り上げる。

(2) 提案

高岡駅構内における提案

- ・高岡開町 400 年マスコットキャラクター「利長くん」の駅での活用
(利長くんパネルの設置、利長くんシールの貼付)

・情報の提供

(フリーペーパー・観光パンフレットの提供、新駅の完成予想図の掲示、南口
 に向かう跨線橋での観光ポスターの掲示)

・高岡の産業体験(列車の発車音である「お鈴」の設置・体験)

・音楽でのおもてなし(ゆかりの曲の放送)

高岡駅周辺における提案

・正面口での2次交通案内(矢印表示、案内板の設置)

・地下通路の照明の増設

・地下通路掲示板での情報発信

参考：ワーキンググループ会議経過

(1)第1回(20.6.5) 全体の運営スケジュールと協議事項等の確認

(2)第2回(20.6.16) 検討方針確認、JR高岡駅とその周辺について意見交換

(3)第3回(20.6.24) 現地調査(駅構内、駅周辺の2班)

(4)第4回(20.7.1) 現地調査及び課題の整理

(5)第5回(20.7.16) 報告案の取りまとめ

(6)第6回(20.8.8) 連携推進会議への報告案の提示・協議

【ワーキンググループ】

所 属	職 名	氏 名
西日本旅客鉄道(株) 金沢支社	高岡駅	田中 由紀
	高岡駅	福嶋 雅之
	高岡駅	宮下 頌子
高岡市	経営企画部都市経営課主事	久恵 沙織
	経営企画部開町400年記念事業推進室主事	水科 梓
	産業振興部商業観光課観光戦略室主事	鈴木 亮平
	生活環境部地域安全課主任	表野 勝之
	都市整備部駅周辺・新幹線対策課主事	水上 暁
(社)高岡市観光協会		木谷 有香

担当：都市経営課政策調整担当